

下呂農林事務所の普及活動状況 令和8年6月30日現在

新たな担い手の確保

■青年農業士 探求学習講話を実施

6月3日、金山中学校3年生を対象に、青年農業士会の会員が講師となり、探究学習講話を行いました。

当日は、観光協会や金山振興事務所、すがたのみらいなど、地域で活躍する計8団体が参加しました。

前半は、各団体がそれぞれの活動内容や、金山地域が抱える課題について紹介。後半は、生徒たちが興味のあるブースを自由に訪れ、直接話を聞く交流形式で実施されました。

農業分野では、会員が自身の経営内容や農業の現場について分かりやすく説明しました。生徒たちは熱心に耳を傾け、特にコンバインの価格の話になると、その金額の大きさに驚きの声上がるなど関心の高さがうかがえました。

青年農業士会としては、農業が将来の選択肢の一つとして、子どもたちにより身近に感じてもらえるよう情報発信を強化しつつ、今後も担い手の確保に向けた取組みを積極的に進めたいと考えています。

農業普及課では、会員の熱意に応え、より充実した活動が実施できるように引き続き支援します。

(農業普及課地域支援係)



【講話の風景】

潜在力をフル活用した生産強化

■水稲 水稲青空（夕空）教室でいもち病防除の呼びかけ

いもち病の発生が問題となっている浅水地区と馬瀬地区で6月3日、JAひだの主催により水稲青空（夕空）教室が開催されました。当日は、JA全農岐阜、および農薬メーカーの担当者とともに講師となり、いもち病対策を中心に研修を行いました。

農業普及課からは、稲作情報誌「飛騨のこめ」No. 2に記載されたいもち病の防除体系を紹介するとともに、いもち病対策における予防防除の重要性について説明しました。いもち病の発生リスクをいもち病情報「ブラスタム」やインターネット農業情報サービス「AgriLook」を活用して把握し、早めに防除するよう促しました。また、ケイ酸資材の施用による耕種的な防除も効果があることを説明しました。

浅水地区、馬瀬地区とも十数名の水稲生産者が参加し、屋外での研修に熱心に耳を傾けていました。農業普及課では、今後の気象状況やいもち病の発生状況に注視し、被害の拡大が懸念される際には関係機関と協力して対策の徹底を指導します。

(農業普及課地域支援係)



【馬瀬地区での研修会】